

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	丸山羽場第二地区まちづくり交付金事業	会計	一般会計	事業No.	533	施策順No.	45-018
		事業種別	政策・その他	予算科目	8-4-2-11-2		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	建設管理課		
施策	45 居住基盤の向上		事業期間	開始	18	終了	22

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	<ul style="list-style-type: none"> 地区内居住者 区画整理計画区域(丸山羽場第二地区) 						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標) 地区内世帯数 計画面積(ha)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業による面整備に引き続き、公園・緑地・緑道を整備し、地区内居住者の憩いの場を創出し地域コミュニティの継承や活性化に寄与すると同時に生活の利便性や防災機能の向上を図られる。 							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標) 整備計画の進捗度(%)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
			360	370	380	390			A
			28.1	28.1	28.1	28.1			
			57	79	91	100	100		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		まちづくり交付金事業で計画した事業は、完了し目標を達成することができた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	土地区画整理事業丸山羽場第二地区においてまちづくり交付金事業により、区画整理の換地処分業務及び公園・緑道等を整備し、生活の利便性や防災機能の向上を図る。 ・区画整理事業(造成工事、換地処分) ・公園整備3箇所(羽場公園:11,700㎡、羽場1号:1,000㎡・羽場2号:1,200㎡) A=13,900㎡ ・緑道整備3箇所 L=333m ・緑地整備工事1箇所 ・防犯灯設置 72基		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 公園整備工事(羽場公園;遊具設置) 2 事後調査(評価委員会を設置し、第三者による客観的評価を実施する。)	1 公園整備面積 2 評価委員会開催数	1 A=700 ㎡ 2 1回
23年度実施計画			

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	(国)社会資本整備総合交付金(市街地整備)(旧まちづくり交付金 事業費全体の40% 公園事業については45%) 特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金		11,100	11,100		
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		30,985	30,946			
計(A)		42,085	42,046	0		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)				0		
トータルコスト A+B			42,046			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業の換地処分と、更に引き続き早期の公園整備完了を望んでいる。 公園計画に対する地元の熱意は高い。平成17～18年度の公園設計ワークショップでは住民の事業への主体的な参加を促し、同時に住民意見の調整を図ることができた。 第5次基本構想基本計画推進委員会より、公園の整備以降の管理などをスムーズに行うため、今後、整備後の管理移管を含め、事前に地元と協議を行うことが望まれるとの提言をいただく。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	居住基盤の満足度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	区画整理事業の面整備に引き続き、公園・緑地・緑道を整備し、地区内居住者の憩いの場を創出し地域コミュニティの継承や活性化に寄与するとともに生活の利便性や防災機能の向上が図られた。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	公園整備に際し、地元住民参加による計画立案、遊具選定等地域住民から親しまれる公園を目指した。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	遊具設置にあたり、遊具メーカーの公募によるプロポーザル方式で業者を選定しコスト削減に努めた。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	区画整理事業で創出された用地に公共施設を設置、地区内権利者に対して20.95%の土地の減歩により負担を課している。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	区画整理事業については、換地処分までの業務が完了し、公園、緑地整備、LED防犯灯設置等については、地元と調整を図りながら事業を実施、計画した事業は完了することができた。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------